

令和4年9月5日
公孫樹龍神社大祭

朝 日 神 社 総 代 会

【報告事項】

1、夏まつりについて

1) 大祓式（茅輪神事）・児宮社・子守社大祭（赤丸神事）

令和4年7月15日（金）～16日（土）

本年度も昨年同様に、祭典のみ執り行い、接待行事などは中止とした。
夏まつりの勸奨チラシを作製して、各町内で配布頂いたが、残念ながら
参拝者は数える程度であった。

2) 収支報告

【収 入】

御 朱 印：4,700 円

祓 い 芦：3,400 円

赤 丸：1,000 円

おみくじ： 500 円

御 守：3,100 円（交通小2体・身体3体・厄除2体）
12,700 円

【支 出】

御 礼：20,000 円

車 代：10,000 円

手土産代 4,000 円

34,000 円

芦提供者：熱田神宮・護国神社 愛西市佐織支部奉賛会
会長 加藤 忠 男 氏 外2名
芦刈取りと神社までの運搬をして頂いた。

2、献灯会

80提灯（8月末日現在）の申し込みがあった。

【協議事項】

1、朝日神社例大祭齋行について

1) 神輿渡御神事

本年度の名古屋まつりは、新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえ、通常より規模を縮小して開催する。

「市指定文化財山車揃(ぞろえ)」「子どもみこしパレード」「少年鼓笛隊」は中止する。行列では立ち止まっての演技はせず、市役所前の行列観覧席は廃止。まつりは、自宅でも楽しめるようオンライン配信する。

「英傑行列」をはじめ、フラワーカーパレードなどの人気の行列は例年通り行われるが、小学生以下の子どもは感染リスクが高いということで、子供たちが参加する「少年鼓笛隊」やみこしパレードなどは取り止めた。

これらを踏まえて、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年度も神輿渡御神事を執り行なうのは、困難であると思われる。

密集の中で神輿を「わっしょいっ、わっしょいっ」の大きな掛け声で担いだり、御旅所で飲食の接待を受けるのは、一般の方からは丸見えであり、外での飲み食いは、非難の的となってしまう恐れがある。

仮に、御旅所での飲食を中止して、ひたすら神輿を担ぐだけにすると、接待が何も無くて、担ぎ手が集まるとは考えにくい。

不本意ではあるが、本年度も神輿渡御は中止せざるを得ないとする。

2) 祭典方法

祭典については、例年通り齋行する。

献幣使 1 名・献幣使随員 1 名（愛知県神社庁）

楽人 3 名・助勤者 1 名（那古野神社神職）

3) 参列の案内

例年は、奉賛会正副会長・代行・総代・公職者・奉賛会々員へ案内をしていたが、感染症防止の観点から拝殿内の参列者を人数制限する必要がある

ので、本年度も例年通りの案内は難しいと思われる。

昨年度は、奉賛会正副会長・代行・総代・祭事委員代表に参列の案内をし、公職者・奉賛会々員には参列自粛の依頼をした。

本年度については、上記と併せて公職者(4名)にも案内をしたいと考える。因みに、昨年度の参列者は14名であった。

4) 直 会

祭典終了後に、社務所一階齋室において、献幣使・宮司以下参列者は神酒拝戴を執り行なう。

その後、直会は執り行なわないが、参列者には手土産を手渡しする。

昨年同様に、献幣使・献幣使随員・楽人・助勤者は、持ち帰りの割子弁当・お茶・日本酒(一合瓶)を手渡しする。

2、例祭に対するお初穂料について

例祭は年一回、多くは祭神や神社に特別の由緒のある日に行われる。

神社で毎年行われる祭祀のうち、最も重要とされるものである。

時節柄大変恐縮であるが、各町内会・奉賛会々員へ例祭に対する初穂料納入のご依頼をさせて頂きたくご協力を願う。

3、そ の 他

- ・写真撮影は例年通り行うが、晴儀の場合は石階下で、雨儀の場合は拝殿内で撮影する。
- ・緊急事態宣言が発出されても、上記のとおり齋行する。

以 上